

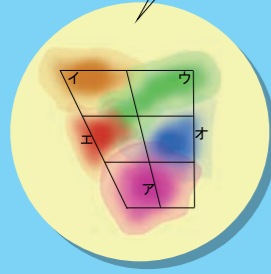
そもそもなぜ、日本人の英語は通じない？

それは、日本語と英語の音の数が違うからです。

たとえば母音(あいうえおの仲間)の数は日本語と英語でこんなに違います。

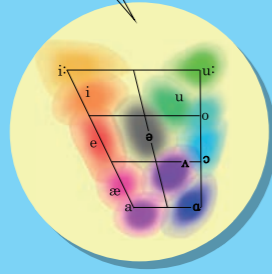
日本語母音

5個







英語母音

約14個



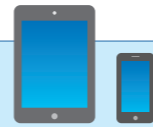
日本語は世界で最も「音の数が少ない」言語のひとつです。

	日本語		英語
	70個		600個
	中国語		韓国語
	2000個		600個

発音の違いをはっきりと知り、そのメカニズムを学習しなければ、英語のおよそ9割近くは認識できません。



導入方法はカンタン!



学校のPCにインストールする必要はありません!

タブレットPCや携帯端末とネット環境あれば、いつでも学習できます!

インターネット環境であればどこでも使えます!

おすすめの端末や利用環境をサポートします!

家でも、学校でも、ログインすれば続きからできます!

1名様から導入いただけます!

■主な導入実績

その他エンジンの部分のご採用

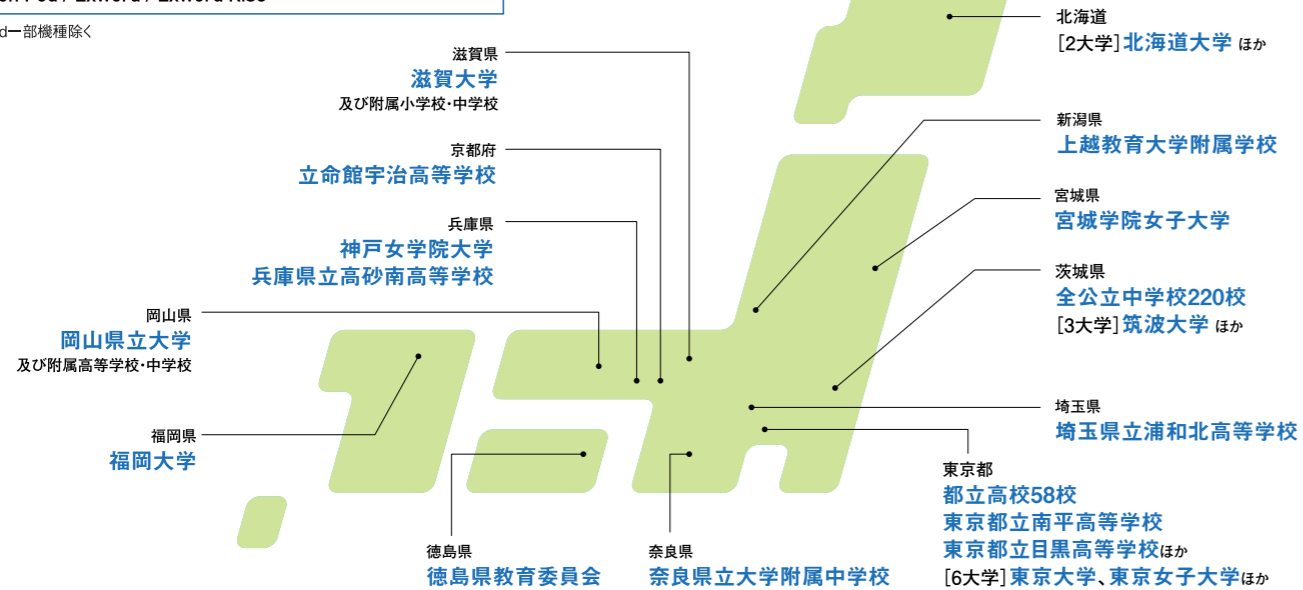
カシオ計算機



Lesson Pod / Exword / Exword Rise

東京書籍株式会社 様
開隆堂出版株式会社 様
神田外語キッズクラブ 様
学友社 様

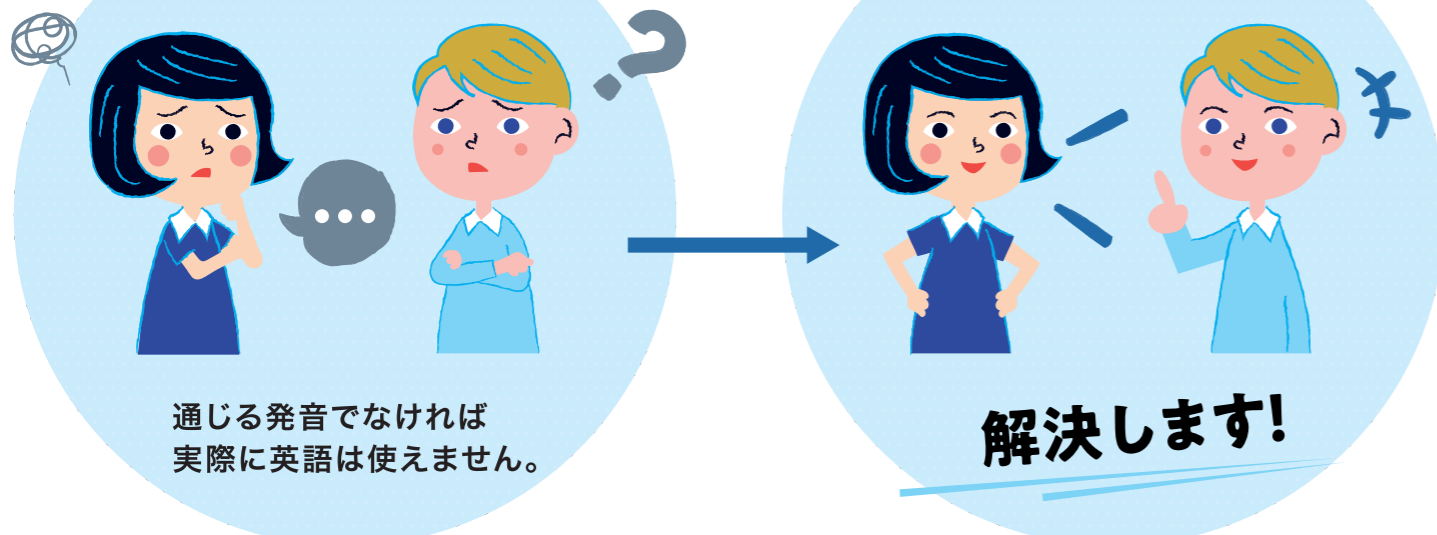
全国で
ご採用頂いております!



言葉の「通じない」を科学し解決する

PRONTEST[®]Inc.

通じる発音で、 使える英語へ。



通じる発音でなければ
実際に英語は使えません。

解決します!

英語4技能の土台は正しい発音にあります

英語の基礎は音読から始まりますが、カタカナ英語を定着させる原因ともなるので、正しい英語の音を認識させなくてはなりません。
正しい発音で練習(Speaking)をすると、聞く力(Listening)が身に付きます。正しい発音で音読(Reading)していると、スペルと音が結びつき、書く力(Writing)が身に付きます。この正しい音読の繰り返しで、自然に『正しい文法』が身に付いていくのです。

調音器官の使い方を具体的に直す必要があります

正しい発音は真似をするだけでは定着しません。多くのリスニング教材にある「聞くだけ」の練習では、ネイティブ同様に聞き取れるようになるまでに1000時間かかるといわれています。
正しい発音には、口の中の状態(くちびる、舌、歯など)をどのようにすればよいかをチェックしながら練習していく必要があります。

通じる発音を定着させ、アクティブ・ラーニングを効果的に導く学習法とは?

新しい英語学習のカタチ

PRONTEST CALL

PRONTEST CALLは、効率的に、
短時間で通じる発音に導く発音矯正ソフトです。



口の中の状態まで分析する、
PRONTESTエンジン搭載!

(国研)産総研との共同特許取得

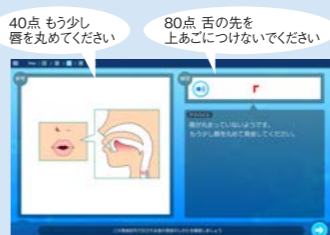
発音判定・指導 PRONTEST®エンジン

PRONTEST® エンジンは、調音音声学に基づいて、口の中の状態を自動的に判定し、言語における発音を調音器官(歯、唇、舌)レベルで評価・指導する技術です。

発音のコツを教えます!

✓ 発音チェック機能

その音を発音したときの「舌、歯、上あご」の位置関係や唇の形など口の中の状態を指摘し、具体的にどのようにすれば正しい発音になるかを教えてくれます。



40点 もう少し唇を丸めてください

80点 舌の先を上あごにつけないでください

正しくなめらかな英語に仕上げます!

✓ リンキング練習

「リエゾン法」により、単語と単語のつながり方、音が変わったり消えたりするパターンを具体的に練習し、より英語らしい音読ができるようになります。



口の中の状態を「見える化」します!

✓ 母音チェック機能

口の中をモデル図にした「母音の台形」の中に、リアルタイムであなたの発音がポイントで表示され、舌の位置や唇の形、口を縦にどのくらい開くか、などを具体的に指導してくれます。



✓ 文章判定機能

学習者の英語がどのくらい「英語らしく音読」できているかをチェックします。たとえば、音節の数や音の質を分析してカタカナ英語に近いかどうかを判定したり、子音がどれくらい英語の子音らしく発音できているか、単語のつながり目がどのくらいなめらかに読めているか、など。



✓ リスニング機能

どのくらい発音の違いが聞き取れているか、などのチェックをします。リスニングができると、単語を正しいスペルで覚えることができるようになります。

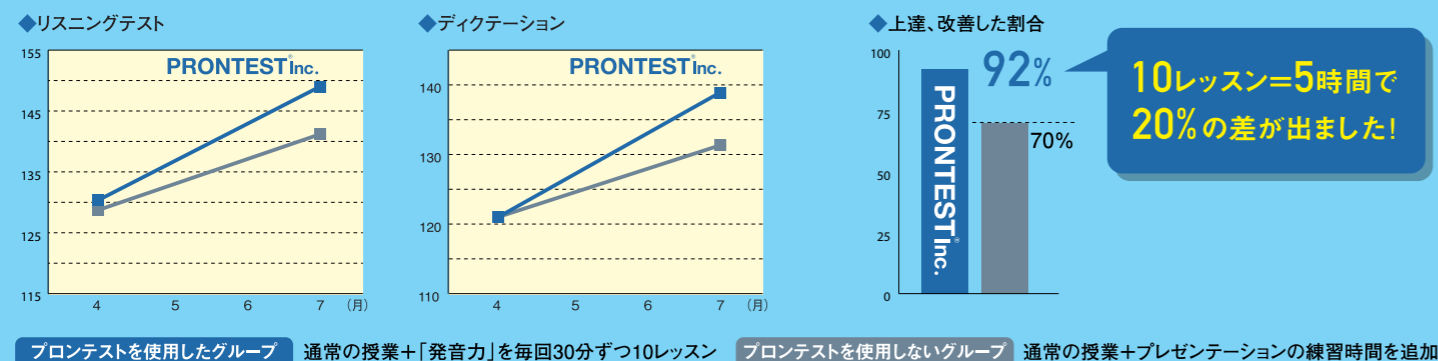
✓ スペリングチェック機能

聞き取った単語や文章を、正確に書けるかどうかをチェックします。英語をそのまま音として記憶する訓練ができ、会話練習にも役立ちます。

導入効果 1 青山学院大学 経済学部での実験結果

5時間でリスニングに差がつく!

プロンテスト「発音力」以外の条件を同じにした二つのクラスの比較実験しました。



導入効果 2 授業での活用アンケート (H24年茨城県教育委員会集計)

茨城県の全公立中学校で導入!

茨城県では全ての公立中学校に、プロンテストの「発音検定ジュニア」が導入されています。

